

---

# 出会い

如月 翔太

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

出会い

### 【Nコード】

N04780

### 【作者名】

如月 翔太

### 【あらすじ】

カセドリア連合王国その若きティファリス聖女王と  
いつもティファリスの隣でいかつい顔でいるウィービン  
普通ならあり得ない組み合わせなのにより得ないことが  
起こっているその2人の出会いの話・・・

(前書き)

初投稿でいろいろダメなところがありますが  
我慢して見てください><

あと、どこどこ直した方がいいよーっての  
どんどん言ってくれれば幸いです。

「何処だここは・・・」

ウィービンは森の中で迷っていた

ゴブリンを追いかけていたらこんなところまで来てしまったな、しかしここは何処だ・・・

周りは草が生い茂り、空は木で覆われている

「まあ歩いていたら知っている所に出るだろう」

そういつて彼は森をどんどん進んで行った・・・さらに森の奥深くに・・・

そう彼は方向音痴だった

「む、水の音がするな、近くに川があるのか」

そういえばずっと歩いているな、ちょうど近くに川があるしそこで休憩するか

そう思い水の音がする方向に向かって歩きだした

水の音が大分近づいてきたとき

「きゃあーーーーー」

なんだ？悲鳴だったな・・・

とりあえず行ってみるか

彼は悲鳴が聞こえた方に走った

川の近くまで行くと、少女が巨大クモに襲われていた

やばいな・・・

ウィービンはすぐさま弓を構え

「喰らえ、イーーーーーグル ショット!!!」

トス、巨大クモは10のダメージを受けた

残りHP990 「え・・・」

ええー！ー！？ 10しか喰らわないのに残りHPが990もあるなんて・・・

く、くそおー！ー！ー！！

「イーグル！」 「10」 「イーグル！」 「10」 「イーグル！」

「10」

巨大クモは平気そうな顔をしている、・・・顔！？

巨大クモの攻撃、トリプルアタック！

「300」 「ぐはっ」 「300」 「ぐえ！」 「350」 「おえ・

・・・」

ウィービンは950のダメージを受けた 残りHP50

「ぐ、やるな・・・俺に本気にさせた、な・・・」

ウィービンはベーコンを3個食べながら言った

ウィービンはHP300回復した 残りHP350

ふっふっふっ俺を本気にさせたこと後悔させてやる！

「喰らえ、奥義！パワー！ー シュート！ー！！」

光の速さで敵を貫くこの攻撃を喰らっては生きてないな  
ヒュー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！  
ドン！ 「ふっ死んだな・・・」

「30」

「ええー！ー！ー！ー！ー！？ 俺が後悔したああ！！」

巨大クモの反撃、SINEウィービン！

「ちよ、その技名ひどっ！」

ズバシユ！ 「349」 「ぐはあー！ー！ー！ー！ー！ー！！」

「ウィービンの残りHP1」

地面に倒れながら「く、ここまでか・・・」

その時

「深淵なる水の底 彼の者を凍らせたまえ」

「ブリザード カレス」

カキーン！ 「300」

なっ！？あの巨大なクモが凍っているだと・・・

「ごめんね・・・」

少女は巨大クモに対してつぶやいた

「星雲の力を使い その一撃で敵を倒せ」

「メテオ」

その瞬間、空に浮かぶ魔法陣から隕石が現れ巨大クモに向かっていった

ズドオオーン！！！ 「650」

「少女が巨大クモを倒しました」

「す、すごい・・・」

あれだけの魔法力、俺が入ってる傭兵軍団でも数えるほどしかないないぞ・・・

少女は力尽きた巨大クモに対して何かつぶやいて

次にウィービンの元に向かってきた

「大丈夫ですか？」

と言いウィービンに対して少女は鞆から出したハイリジエネレート  
をかけた

「お、ちよつ、ちが！、使い、方、ちが、う」

「あれ？かけるんじやなかったかな？」

とかわいらしく首をかしげた

少女は鞆からパンを10個出してウィービンの口に入れ始めた・・・

一気に10個全部・・・

「ちよつ、もご、待つ、むぐ、息が、む、う！？」

「だ、大丈夫ですか！？」

「だ、い、じよ、う、ぶ」 パタ 「HP10」ピッ

「少女がウィービンを倒しました」

それが彼女、ティファリス王女との出会いだった

(後書き)

読んでいただきありがとうございます  
気が向いたらいいので感想とかもらえたらうれしいです



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0478o/>

---

出会い

2010年10月22日00時57分発行